

第5 ロジックモデル

	個別施策（アウトプット）	中間成果（中間アウトカム）	目指す姿（分野アウトカム）
予防・相談	1 小児の事故防止対策、病気予防等の啓発 指標 ・ 小児の事故防止について普及啓発している自治体の割合	1 小児とその家族が事故や病気に対する適切な予防行動がとれている 指標 ・ 不慮の事故による死亡率	1 適切な小児医療が提供され、小児やその家族が安心して暮らすことができる 指標 ・ 乳児死亡率 ・ 小児死亡数 ・ この地域で子育てをしたいと思う親の割合
	2 急病時の相談対応体制維持	2 小児の家族が医療の必要性について相談し、適切な受療行動がとれている 指標 ・ #8000相談件数	
	3 小児の病気や障がいについて家族が相談できる体制	3 医療が必要とされている小児が早期に発見され、医療につながっている 指標 ・ 幼児健診受診率	
小児医療体制	4 身近な地域で日常的な小児医療や相談が受けられる体制の維持 指標 ・ 小児かかりつけ医を持つ人の割合	4 病状に応じて、小児患者が適切な医療を受けることができている	
	5 必要な時に、重症度や専門性に応じた医療を受けられる体制の維持	5 継続的な医療が必要な小児患者が成人期医療に移行するための支援を受けている	
	6 小児医療と併せて必要な他科受診ができる体制整備		
	7 小児科と成人診療科との連携体制整備		
小児救急体制	8 より身近な地域での小児救急体制の維持 指標 ・ 休日夜間急病センター等の小児初期救急医療体制を整備している医療圏数	6 小児救急患者が緊急度、重症度に応じて、適切な救急医療を受けることができている 指標 ・ 小児救急搬送の内、受入困難事例の件数	
	9 重症度に応じて迅速に対応できる小児救急医療連携の維持		
療養・療育支援	10 小児の療育支援体制整備	7 小児患者が必要に応じた療育を受けることができている 指標 ・ 長野県難聴児支援センター 相談件数	8 小児患者が退院後の生活を踏まえ、安心した在宅療養支援が受けられている（在宅移行+継続療養） 指標 ・ 退院支援を受けたNICU,GCU入院児数
	11 小児の在宅療養支援体制整備 指標 ・ 在宅小児の緊急入院を受け入れている医療機関数		
有事の小児医療	12 災害時小児周産期リエゾンの養成を推進 指標 ・ 災害時小児周産期リエゾン任命者数 ・ 災害時小児周産期リエゾンの配置二次医療圏数	9 有事（災害時、新興感染症の発生・まん延時）を見据えた小児医療体制が整っている 指標 ・ 災害時小児周産期リエゾンの県防災訓練参加回数 ・ 災害時小児周産期リエゾン連絡会議の開催回数	
	13 小児に対する災害医療体制の構築		
	14 新興感染症の発生・まん延時の体制検討		